

野球 2019年度春季近畿地区高等学校野球滋賀県大会

3回戦 彦根東 6 — 0 国際情報

TEAM	一	二	三	四	五	六	七	八	九	R
彦根東	1	0	2	1	0	2	0	0	0	6
国際情報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

点差を広げ、勝利を勝ち取る

ベスト8進出

▶西田君は2塁打を決めた。



▲森野君の生還に湧き上がるベンチ



▲この試合を無失点に抑えた中谷君

5月2日に彦根球場で2019年度春季近畿地区高等学校野球滋賀県大会の3回戦が行われた。本校は国際情報高校と対戦し6—0で勝利した。

速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号

1 回表の本校の攻撃で1番川口瞭介君（3—2）が左中間へ二塁安打を打ち、その後二死三塁の場面で4番井上人太君（3—8）がセンター前の適時打を決め、本校が先制点を奪った。3 回表にはこの回の先頭打者の川口君がレフト前安打で一塁に進み、2番加藤陽也君（3—5）が犠打で一塁走者を二塁へ送った。一死一塁から3番中谷凌君（3—5）がレフト前の適時二塁打を打ち二塁走者が生還。また相手の打球が乱れた間に盗塁などを重ね、もう一点を追加し、この回で2点の追加点を挙げた。4 回表の本校の攻撃では8番森野隼人君（3—2）がライト前にヒットを打ち、相手のエラー間で一気に塁を進めホームに生還。本校が4点目を追加した。6 回表には7番西田乗斗君（3—5）が二塁安打で出塁後、連続の犠打で三塁、そしてホームへ。二死の場面で1番川口君が四球で出塁し、さらに盗塁に成功した。続く2番加藤君が左中間へ適時二塁打を打ちこの回に2点目を挙げた。相手を無失点で抑え6—0で試合終了。本校が大差で勝利を収めた。

この試合で先発投手を務めた中谷君は自身の投球について「テンポよくリズムのいい投球ができたと思う」と顔をほころばせた。一回表の適時打を打った井上君は「試合を優位に運ぶためにも先制点はほしかったので必ず1点を取ろうという気持ちで打った」と明かした。この試合で2安打の成績を取った川口君は試合を「前半はみんなで打つことができたが、後半は勝負の場面で決めきれなかった」と振り返った。4 回表にランニングホームランを決めた森野君は「自分たちのできることを発揮し、自分たちの土俵で戦いたい」と次への意気込みを見せた。監督の村中隆之先生は「前の試合が、あまりにも打てていなかったのできちんと振れと言っていた。確かに今回は前の試合よりは良かった。だがコールド勝ちを決められるはずの打席で三振して流れを止めてしまったし、もう少し長打が出てほしかった気がする」と今後の試合に期待され、加えて次の試合について「夏の大会のシード権が得られるベスト4をかけた大事な試合となる。自分たちで色々トライしていきたい」と意気込まれた。